

今年はいのしし

亥

年です



勢いある一年となりますように

左上の写真は山五十川歌舞伎の演目の一つ「仮名手本忠臣蔵」の五段目に登場するイノシシです。殿中で刃傷沙汰にんじょうが起きたとき、主君のお供でありながら、館を離れていて駆けつけられないという大失態を犯した早野勘平。切腹してわびようとしたのですが、後に妻となる恋人に説得され思いとどまり、獵師として暮らしています。ある日、獵の途中で元同僚の家臣に偶然再会。亡君のあだ討ちに参加するためには、軍資金を準備しなければいけないことを知ります。しかし、今の貧しい暮らしでは到底捻出できる金額ではありません。そんな折、暗がりの中を駆けてきたイノシシ目掛けて鉄砲を撃ち、誤って人に当ててしまいます。倒れた男を介抱するうちに、懐に大金の入った財布があることに気付く勘平。一旦はためらったものの、財布を持ってその場を走り去ります。

山五十川歌舞伎には現在20の演

目が保存・継承されていて、毎年、春と秋に一つずつ上演されます。次にこの演目が上演されるのは数年先になりそうです。勘平がその後どうなるかは、ぜひ舞台をご覧ください。

「猪突猛進」という慣用句があります。周囲の人のことや状況を考えずに、一つのことに向かって突き進むことを言って、あまり良い意味では使われない言葉です。

しかし、勘平の鉄砲に狙われたイノシシは、猛烈な勢いで山を駆け抜け難を逃れました。困難に直面したときや、何かをやり遂げようとするときは、イノシシにあやかって突き進むことも大切なかもしれません。

今年が皆さんにとって勢いのある良い年となることをお祈りいたします。



イノシシ役をしてくれた 三浦由快 君（あつみ小2年）  
新年の抱負はスポーツ少年団でバスケットボールを頑張ることです